

岐阜工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	情報リテラシー
科目基礎情報						
科目番号	0025		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年	2		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	なし					
担当教員	島本 公美子					
到達目標						
以下の各項目を到達目標とする ①コンピュータの基礎 ②キーボードの使い方 ③インターネットとメールソフトの使い方 ④Office 系ソフトウェアの活用						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	実例に基づいたコンピュータの基礎に関する問題を解くことができる。		コンピュータの基礎に関する問題を解くことができる。		コンピュータの基礎に関する問題を解くことができない。	
評価項目2	実例に基づいたキーボードの使い方に関する問題を解くことができる。		キーボードの使い方に関する問題を解くことができる		キーボードの使い方に関する問題を解くことができない。	
評価項目3	実例に基づいたインターネットとメールソフトの使い方に関する問題を解くことができる。		インターネットとメールソフトの使い方に関する問題を解くことができる。		インターネットとメールソフトの使い方に関する問題を解くことができない。	
評価項目4	実例に基づいたOffice 系ソフトウェアの活用に関する問題を解くことができる。		Office 系ソフトウェアの活用に関する問題を解くことができる。		Office 系ソフトウェアの活用に関する問題を解くことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	近年、工業製品の研究開発、設計・製造プロセスにおいてコンピュータを利用する機会が飛躍的に増えている。また、IT革命以来、技術者にも大量の情報を管理し、多種多様な人々にわかりやすく自分の考えをデジタルデータで発信する能力が求められている。このため、IT能力は技術者にとって不可欠な能力となっている。 本講義ではこの背景に基づき、以下に示すITに関係する基礎的な内容を扱い、講義と実践を通じてコンピュータリテラシーを修得することを目標とする。					
授業の進め方・方法	IT に関係して重要と思われる題材を幾つか採り上げ、これらについて講義と実習を組み合わせで進めていく。 なお、いくつかの専門用語は英語で記載される 英語導入計画：Technical terms					
注意点	本授業では実習時間を多く取ることで、個々人が直接コンピュータを扱いながらIT 能力向上に努めていけるよう配慮している。なお、学生諸君の理解度に応じて、シラバスの内容と進度を変更することもあり得る。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業の概要説明、機械工学とIT との関わり（講義）		機械工学とIT との関わりを習得する	
		2週	パーソナルコンピュータの基礎（講義）		パーソナルコンピュータの基礎を習得する	
		3週	キーボードとブラインドタッチ入門（講義・実習） ALのレベルC		ブラインドタッチを習得する	
		4週	インターネットとセキュリティ（講義・実習） ALのレベルC		インターネットとセキュリティの知識を習得する	
		5週	ワープロソフトによる文章作成「案内状を作ってみよう」（講義・実習） ALのレベルC		ワープロソフトの使い方を習得する	
		6週	ワープロソフトによる文章作成「履歴書を作ってみよう」（講義・実習） ALのレベルC		ワープロソフトの使い方を習得する	
		7週	ワープロソフトによる文章作成「高度な書式」（講義・実習） ALのレベルC		ワープロソフトの使い方を習得する	
		8週	前期中間試験実施不可のため、遠隔授業のフォローアップを実施（講義・実習）		難しかったところや、理解しきれなかったところ、もう一度取り上げて欲しい内容を質問して、その知識や操作方法を習得する	
	2ndQ	9週	表計算ソフト演習「色々なグラフを作ってみよう」（講義・実習） ALのレベルC		表計算ソフトの使い方を習得する	
		10週	表計算ソフト演習「家計簿を作ってみよう」（講義・実習） ALのレベルC		表計算ソフトの使い方を習得する	
		11週	表計算ソフト演習「スケジュール表を作ってみよう」（講義・実習） ALのレベルC		表計算ソフトの使い方を習得する	
		12週	プレゼンテーションソフト演習「自分の趣味の素晴らしさを伝えよう1/2」（講義・実習） ALのレベルC		プレゼンテーションソフトの使い方を習得する	
		13週	プレゼンテーションソフト演習「自分の趣味の素晴らしさを伝えよう2/2」（講義・実習） ALのレベルC		プレゼンテーションソフトの使い方を習得する	

		14週	プレゼンテーション発表会（講義・実習） ALのレベルB	プレゼンテーションを習得する		
		15週	前期期末試験			
		16週	プレゼンテーション発表会（講義・実習） ALのレベルB	プレゼンテーションを習得する		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	3	
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	3	
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	3	
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	3	
評価割合						
		試験	レポート		合計	
総合評価割合		34	66		100	
得点		34	66		100	